

### 生命尊重教育としての学校飼育動物活動 西東京市モデルの推進を



自由民主党西東京市議団 中川 清志

**問** タブレットルールを子どもが自主的に決めた意義と今後は。  
**答** 生徒が当事者意識を持ち、学校の運営や行事等の企画・立案に積極的に参画しようとする姿が見られるようになった。中学生から提案された「タブレットルール」が、小学校においても浸透し、安全・安心な学習道具として活用されている。今後、生徒自身の中で問題意識等が高まり、新たにルールを作り出す必要性が生じた際には、各校や中学校区で子どもたち自ら検討していくことができるよう校長会を通じて指導する。  
**問** 部活動の地域移行について伺う。  
**答** 部活動は、生徒のスポーツや文化的活動に親しむ機会を確保し、自主的・主体的な参加による活動を通じて、責任感・連帯感を涵養し自主性の育成に起用する意義のある活動

である。部活動外部指導員及び部活動指導員の配置を推進し、教員の負担軽減に努めている。コミュニティ・スクールの拡充に伴い、身近な地域人材活用等の可能性を探り、子どもたちが、持続可能な地域社会の在り方や、地域への関わり方等の身近なロールモデルを獲得し、将来、積極的に地域社会に貢献する態度を育むことにつながることを期待している。



### 小中学校の欠席届オンライン化を進めよ！ 市内経済を守り、コロナ後の新たな西東京へ



自由民主党西東京市議団 山田 忠良

**小中学校の欠席届オンライン化**  
**問** 保育園や幼稚園ではアプリやオンラインで欠席などの連絡ができるが、小中学校では紙の連絡帳が基本となっている。オンライン化を進めて保護者や教員の負担軽減に取り組むべきだが、市の見解は。  
**答** 試行的にオンライン連絡を取り入れている学校で効果が出ている。今後、事務の効率化に向け研究する。  
**市内経済の見通しと事業者支援**  
**問** 医療体制も含め、コロナ禍は落ち着きつつあるが、世界的な景気後退など経済の見通しは不透明だ。来年以降引き続き、事業者支援を行うべきと考える。市の見解は。  
**答** 今年度の税収は法人・個人ともに増収となる見込みだ。その上で、市内事業者の動向を把握しながら、的確に事業者支援を検討していく。

**市窓口で視聴覚障害支援端末を**  
**問** 現在、全国自治体の窓口で、リアルタイム音声認識・音声合成アプリ「UDトーク」を活用したシステムの導入が進んでいる。視覚や聴覚にハンデのある方や外国の方との円滑なコミュニケーションに有用と考えるが、市の見解は。  
**答** 先進自治体の状況を参考に、様々な視点から検討を進めていく。



### 東西線直通運転、線路カバー、防災組織補助の拡充、233号コミュニティ道路化要望



自由民主党西東京市議団 坂井 かずひこ

**問** 西原自然公園の活用状況は。  
**答** 西原自然公園を育成する会に第1回にしとうきょう環境アワードを授与した。  
**意見** 文華女子高等学校の生徒さんも参加されたので授与してほしい。  
**問** 西原教育施設の活用状況は。  
**答** 施設利用の方々の要望等を踏まえ、機器の機能回復や劣化対策など施設利用に必要な修繕・工事を実施し、安全に利用できる施設として維持管理に努めていく。  
**意見** 隣接している西原自然公園と複合化して市役所の出張所、市民の方が集えるカフェやミニ図書館を造ってほしい。  
**問** マンション防災で、市民防災組織への補助金の見直し内容を伺う。  
**答** マンションなどの大規模な組織を支援する目的で、世帯数に応じた

段階的な補助に見直した。  
**意見** さらに補助金の拡充を検討してほしい。  
**意見** その他、東西線直通化、高層マンションへの遮音対策（線路カバー設置）、田無駅・ひばりヶ丘駅に空港直通バスを導入、保谷駅南口駅前233号線をコミュニティ道路化、保谷庁舎敷地にカフェの誘致等を要望。



西原自然公園

### 次世代のために、少子高齢化による社会保障 関係経費の増加に真剣な対応を求めよ！



自由民主党西東京市議団 富永 雄二

**問** 少子高齢化の進展により、本市でも今後も増加傾向が続くと見込まれる民生費（社会保障関係経費）の推移と今後の市の対応について教えてください。  
**答** 民生費は長引く新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の対応も含め、令和3年度の決算数値で子育て世帯臨時特別給付金給付事業や住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業の実施などにより、全体では前年度比12%増となっている。民生費の経費は増加が続いており、過去10年間の推移では、平成24年度から民生費が市税収入を上回っている状況である。扶助費の推移についても増加が続いており、令和3年度の決算数値は前年度比19.7%で、10年前の1.6倍となっており、歳出全体の約3割を占めている状況である。

今後についても増加が続くものと見込んでおり、引き続き財源確保を図りながら財政負担の軽減に努めていく。

#### その他の質問

- ◇福祉丸ごと相談窓口の取組と現状
- ◇生活保護制度の自立促進事業における高校や大学への進学支援状況
- ◇児童発達支援センターひいらぎのセンター化以降の動向など



### ひばりが丘北4丁目の生産緑地の検討状況と ひばりヶ丘駅北口A地区の地区計画について



自由民主党西東京市議団 田中 のりあき

**問** 令和4年第2回定例会の一般質問で、ひばりヶ丘駅北口の一番通り西側にある、ひばりが丘北4丁目の生産緑地について質問した際に、「所有者の意向を伺いながら、既存の緑地を生かす方法を検討する」との答弁であったが、検討状況を伺う。また、ひばりヶ丘駅北口の一番通り西側の地区計画策定要望に対する現在の検討状況を伺う。  
**答** ひばりが丘北4丁目の生産緑地は、所有者の意向により特定生産緑地に移行せず、指定から30年が経過した令和4年10月に市に対して買取り申出書が提出され、市は、同年11月に所有者に買い取る旨を書面で通知し、取得する意思をお示しした。ひばりヶ丘駅北口一番通り西側のA地区は、防災上十分な道路基盤を有していないなどの課題があり、

安全で快適な歩行空間の創出や、土地の有効利用と街並み形成などを図るため、地区計画の検討を進めてきた。当該生産緑地を市で取得し、地区計画などにおいて、当該緑地を活用した新たな道路ネットワークの構築や、防災を目的とした公園等の整備を位置付け、目指すべきまちづくりの実現と地域の課題解決に大きく寄与するものと考えている。



ひばりヶ丘駅北口

### 誰もが輝ける共生社会の実現を目指す！



自由民主党西東京市議団 酒井 一郎

**子ども支援について**  
**問** 児童養護施設出身者や里親の親元を離れた方に対して、運転免許証の取得やキャリアアップにつながる資格取得支援が必要だ。見解は。  
**答** 特定の支援制度はないが、寄り添った支援をしていく。  
**高齢者支援について**  
**問** 市はインターネットでの市政情報の発信や災害時の情報提供、公共施設の予約、図書館の貸出予約などを行っている点からも高齢者にスマートフォンの利用を促すことが重要だ。スマートフォンを持たない高齢者の普及策として無償貸与や購入費補助を行う他自治体がある。見解は。  
**答** 高齢者のデジタルデバインド対策の支援活動を行う。計画策定に係るアンケートに使用しているICT機器、スマホ講座への参加意向の設問

を新たに追加した。  
**公園について**  
**問** 最近では、障がいの有無に関係なく誰もが利用できるインクルーシブ公園の整備に力を入れる自治体がある。地域ニーズに即して改善すべきだ。見解は。  
**答** 担当部署において情報収集に努めている。整備を進めていく。



\*ネーミングライツ スポーツ施設などの名前に企業名や社名ブランドをつけることであり、公共施設の命名権を企業が買うビジネス。  
 \*UDトーク 音声認識・音声合成、多言語音声認識・翻訳、漢字かな変換や手書きなどの機能を使った視聴覚障害者・多言語・世代間のコミュニケーションを実現するアプリのこと。  
 \*デジタルデバインド 情報通信技術の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる経済格差。